



中原そう参議院議員



平成13年
5月10日
第102号

発行所

広島県歯科医師
連 盟
広島市中区富士見町11-9
TEL (082) 241-5525
編集兼発行人 山本忠昭

だいいじにすれば永久歯、
だいいじにしないと永久止。

Keep 25 teeth
until you're 55



ゴーゴーニゴー
5525運動

55歳で25本の自分の歯をもちましよう

第二回

中原そう議員 励ます会開催 みぞで顕正議員

四月九日(月)午後七時から県歯会館六階「ハーモニーホール」に於て、標記の励ます会が開催された。二回目の来賓となった中原議員とみぞで議員及び四名の来賓を迎え、選挙戦本番にあと三カ月とせまった会場は会員の熱気の渦に包まれた。

三戸誠士理事長の司会のもと、まず本山栄荘会長より「私の方から連盟活動の重要性と必要性ということ必要は、今さら申し上げるまでもない。今日は二人の候補の先生から充分にお話を聞きたいと思っております」と挨拶があった。

続いて、林正夫広島県議会副議長より「参議院選挙が近くなった中で本日、自民党県連の全体会議が開かれました。やはり今政治の焦点は総裁選挙ではないかと思っております。多くの県会・市会の方からそういう不透明さが今の自民党のこの批判につながっているという声があがり、十一日に役員会議

を諮り広島県連としての総裁選にのぞむ方向性を明らかにすることになりました。中原先生のご支援に一生懸命頑張っていますが、もう少し自民党のつきりした姿を見せないと選挙にならないというふうに皆で今思っております。また、広島県で中原そう先生の票は、何票でたかということがはつきりいたしません。今まで大変歯科医師会というのには一致団結して選挙の時に非常に強いというふうには他共に、県民皆、我々も含めて思っています。どうぞこの威信にかけて先生方のお力をぜひとも中原そう先生、みぞで顕正先生として自由民主党に一つ

お貸しいただきたい」と挨拶があった。さらに、石橋良三広島県議会議員より「今逆にも私どもが中原先生をもし失ったらどういうことになるかという事を我々は考えるべきであろうと思っております。私達は、活動が日々の診療でなかなか見えてこないけれども、しかしながら少しづつ歯科界の発展のためにやっていたいただいているのは間違いなくあります。先だってはまだ一名も後援会用紙を提出していない人がいらつしやることをある会で聞きました。ぜひともこういう方々の掘り起こしが、私は必要ではないかと思っております。組織に所属している

正しい 技術評価の 実現を

ことを、守られていることを、その重さをやはり伝えるべきであると思つたわけであります。

今回の参議院選挙ほど厳しい選挙はないと思います。自民党にとって大きな逆風であり、また選挙制度も変わりました。しかし今も我々が診療している最中に中原先生は全国を命を削って行脚されていることを忘れずに、たとえ一票でも二票でもその積み重ねが当選につながります。またみぞで先生を知らない多くの有権者の方々もみぞで先生とはあの国旗国歌法を作られた一人だということをお伝えいただければ御理解をたまわるのでないかと思っております。

国民の声を真摯にお受け止められまして、より一層の自民党の発展そして国の発展のために頑張ってください」と挨拶があった。

来賓として、衛藤勝也広島県技工士会会長と光本キヨコ広島県衛生士会会長が紹介されました。続いて広島県選挙区候補者のみぞで顕正参議院議員より「まず第一に、健康保険、実



熱心に聞き入る会員達

は法律です。国会でないとこれが決められない。大変僭越ですが、皆様方の生活水準は全部国会で決めている。最終的には政治家が身をもって解決しないといけないと心得ております。これからも助け合いながら頑張ってまいります。

次に、消費者と供給者の問題。常に消費者と供給者というのは相反している。時代が変

わると、科学技術が変わる、貿易関係が変わるといったしわ寄せは全部、自由民主党は今ままでそういう人達と一緒に歩んできた。あまりに関係者が多いな仕事が多々解決していか

裁選も含めまして極端な例がどなたの意見よりも正しい意見と言うのも正しい意見と言うのも私は極めて問題だと思えます。もう少し我々は自信を持って業

我々政治家もそれに対して積極的に参加すべきであると思えます。我々政治家もそれに対して積極的に参加すべきであると思えます。

広島の教育の正常化のためにも、本来の意味での民主主義のためにもぜひとも自由民主党を支援していただきたい」と決意表明があった。

8020運動というのは、ただ単に八十歳で二十本の歯を残すという予防の考えだけではなく、失った歯に対する歯科補綴技術の適正な評価を行ってもらうことが大切であるというの、私の主張であります。



支援を求める、みぞて議員

伊東副会長の開会の辞で始まり、本山会長より「歯科医師需給問題、診療報酬改定、金銀パラジウム問題、歯科衛生士修業年限三年制移行問題などこれら山積する諸問題解決のためにも、政治力は必要不可欠であり、我々職域の代表を国会へ送るべく、力を結集し、成果を挙げなくてはならない。

またKSDと我々ではないかという意見もあつたが、歯科医師会は定款に基づき、連盟は規約に則り運営されるもので、まったく違うということを認識していただきたい。そして連盟の訴訟問題について、弁護士四名が替わって新たに頑張っていたらいい。張つていただいているが、憲法論争まで及びそうで早く解決しそうな見通しはない。しかし、将来のことも踏まえ、ちゃんとした形で

解決してほしい」と挨拶があつた。続いて、本山会長と三戸理事長より次のような報告があつた。

求める件
(1) 平成十三年事業費賦課額並びに徴収方法(案)に関する件
(2) 平成十三年事業収支予算(案)の承認を求める件
(3) 今期施行の広島県知事選挙候補者推薦の取り運びについて事前承認を求める件
(4) 第三十四回評議員会の取り運びについて
(5) 第十九回参議院議員選挙の取り運びについて
(6) その他の案件
(7) 最後に佐藤副会長の閉会の辞で終了した。



慎重審議する理事会

平成十二年度 第四回理事会開催

三月二十四日午後三時三十分より県歯会館四階「会議室」に於て、標記理事會が開催された。協議事項で第十九回参議院議員選挙の取り運びについて話し合った。

議員生活十年の回顧

広島県議会議員 石橋 良三



昭和六十一年、冬、県下各地の会員の皆様
が慣れないローラー作
戦をするため日曜日を
返上してローラーショ
ンを組み私の選挙区
(広島市安佐南区)へ
続々と集結されまし
た。事務所で、見たこ
ともない安佐南区の細
切れの地図を手渡さ
れ、そして言ったこと
もない挨拶文のマニユ

アルを練習し、地図と
番地だけを頼りにいよ
いよ見も知らぬ家への
個別訪問が始まりまし
た。その年はことのほ
か積雪が多く、団地な
どは途中までは車で行
けても、それから先は
徒歩で坂道、階段を歩
いて行かなければなり
ませんでした。筆舌に
尽くせぬご苦労をおか
けいたしました。後で
数名の先生方から、大
変に良い経験をさせて
もらったと言ってもら
った一言で、少し肩の荷
が下りた様な気が致し
ました。しかし、多く

の皆様のご支援にも関
わらず、元々私の無謀
で無知でずさんな計画
から落選という審判が
下され、多くの方々に
大変苦しい思いをさせ
たこと、そして自分が
起こした行動が社会的
にいかにも重大で責任の
重いことだったのか
を、初めて脳髓の芯ま
で知らされました。犯
罪を犯した者の心境に
近い後ろめたさで、後
の四年間を暮らすこと
になったのですが、そ
の時の皆様のご努力の
結晶が八、五八九票で、
私にとりましては何も
のにも代え難い財産で
あり、これから歩むで
あろう決して楽でない
未知なる道の道標であ

り、杖であり又心の支
えでありました。その
遠くて長い四年の月日
の間に学んだものを一
言で言うならば、「人
情」と「意地」でした。
今の私の基礎のすべて
はこの四年の間に培わ
れたものと思えます。
四年後、当選の栄に
浴した時の喜びと安堵
感を生涯忘れることは
できません。感謝ある
のみです。私が政治を
志した動機は、あまり
にも物質社会に汚され
た人間の心に、先人達
の築き上げた伝統と文
化と歴史に基づいた日
本人らしい美しい価値
観を取り戻すことでし
た。それは、教育を通
じてしかできません。

そこで、私は自らの政
治理念を「教育改革」
一本に絞ったのでし
た。政治家には二つの
要素が必要だと思いま
す。一つは、政治を続
ける限りこれだけは変
わることのないもの、
即ち理念あるいは信念
の様なものと、もう一
つはその時その場所に
応じた臨機応変な政策
です。そして最も重要
なことは、日本国民と
しての確固たる国家観
ではないかと思いま
す。議員となって十年、
その殆どを教育正常化
へ向けて取り組んで参
りましたが、知れば知
るほどあまりの惨状に
何から手をつけていい
のか。日教組と部落

解放同盟の横暴に手が
つけられない状態にし
た。我々県民の血税に
よってまかなわれてい
る公教育の荒廃した現
状を目の当たりにし、
犠牲になっていく子供
達の将来を思うとき、
これはもう日本国民と
しての一種の犯罪行為
であり、これを放置し
ておいた我々全ての重
大な過ちを何十年も見
過ごしてきた責任を、
国民から付託にされた
政治家が最も負わねば
なりません。長きに渡
って国政を担当してき
た自由民主党の議員
は、深い反省のもとに
国家の威信をかけて教
育再生に取り組まねば
なりません。

先日、私の議員生活
十周年祝賀会を、八
〇〇名の方々にご来席
賜り盛大に開催するこ
とができました。これ
もひとえに十五年前に
皆様から頂いた八、五
八九票が原点です。こ
の間、私の至らなさを
離れて行かれた方、
そして四月二日のパー
ティーを見ることもな
く亡くなられた方。私
はそれらの方々の後ろ
姿にいつも手を合わせ
て、この愛すべき日本
の礎になるべく新たな
の第一歩を踏み出して
参ります。初心を忘れ
ることなく。万感の思
いを込めて、有り難う
ございました。

合掌
行きますよう。(燦)



発起人の代表挨拶する本山会長

四月二日(月)午後
六時からリーガロイヤ
ルホテル広島「ロイヤ
ルホール」で石橋県議
の議員生活十周年を記
念し標記の祝賀会が開
催された。

発起人を代表して本
山県歯会長が開会の辞
で「初当選以来十年、
県民のために熱心に活
動してこられた。歯科
界も在宅寝たきり訪問
医療等で活動してい
る。教育問題に深く取
り組んでこられた石橋
先生がこれからも県政
の要として活躍される
ことを祈ります」と挨拶
した。続いて亀井静
香衆議代理の亀井夫人
より挨拶があった。来
賓として藤田雄山知
事・岸田文雄衆議・平
野博昭広島市議会議長
が祝辞を述べた。石橋
県議は謝辞で「平成三
年四月に初当選以来、
皆様の絶大なるご支援
で今日までこられた。特

に歯科医師会の皆さん
の応援には感謝してい
る。これからも更なる
将来にむけて懸命に努
力するので宜しくお願
いします」と挨拶した。
松山俊宏県議会議長の
乾杯の音頭の後、出席
議員全員の紹介があっ
た。ホールに入り切れ
ない程の人波で埋まっ
た祝賀会も最後に木山
千之県消防協会長の閉
会の辞で終了した。



10年の実績から更なる飛躍を

石橋良三君を励ます会開催

(編集後記)

▼小泉内閣が発足し
た。朝日新聞が先日実
施した世論調査による
と支持率は七八%で過
去最高になった。人気
先行と見る人も多いよ
うだが、国民の期待を
裏切らないようがんば
って欲しい。(哲)

▼酒の席でいらん事を
言ってよく失敗しま
す。後で必ず後悔しま
す。気配りが足らない
のと人間的にまだまだ
なのと、真紀子氏もア
メリカ人や中国人にい
らん事を言わない様
に。(お前が言うな!!)

(小夏)

▼小泉新内閣の支持率
は八七・一%に達し、
内閣発足直後の調査と
しては史上最高の支持
率となった。自民党の
支持率も三七・八%に
アップしている。この
追い風を受けて中原選
挙の上位当選を目指し
たい。(N)

▼今年から会計収支予
算書載せることにな
った。情報公開です。
不明な点は各地区の評
議員に尋ねて下さい。

日中は暑くなつてき
ました。自販機でお茶
がよく売れているそう
です。参院選、我々の
合言葉は「爽頭びちゃ」
これを飲んでスカッと
行きますよう。(燦)